

第86期 株主通信

2019年4月1日 ▶▶ 2020年3月31日



株式会社 三社電機製作所

証券コード：6882

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、
平素よりご高配を賜り
心より厚く御礼申し上げます。

代表取締役会長 四方 邦夫
代表取締役社長 吉村 元



当社グループを取り巻く事業環境は、米中貿易の緊張状態、中国の経済成長は過去最低を更新、英国のEU離脱など不安定な状態が継続するなかで、新型コロナウイルス感染症の拡大により世界中の経済活動が停滞し、先行きに対する不透明感がさらに増大してまいりました。製造業の設備投資につきましても、年度を通じて工作機械の受注減少が続くなど、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、半導体事業においてSiCパワーモジュールの量産体制が整ったことにより本格的な営業活動を開始いたしました。また、インド市場へ新たに半導体の販売を開始するとともに電源機器の拡販に努めました。さらに子会社の三社電機イースタンでは、

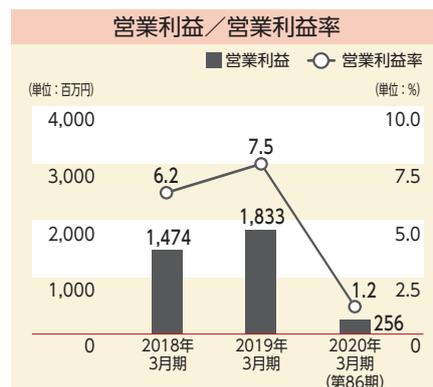
長寿命で信頼性の高い画像処理ユニット接続に適した電源装置を開発いたしました。しかしながら、取引先の設備投資の抑制や先送りなどから厳しい業績となりました。

今般の新型コロナウイルス感染症拡大による国内外の事業活動の停滞の影響により、次期の業績予想については未定としておりますが、中期経営計画の4つのテーマ（①グローバル展開 ②新規の事業領域への展開 ③既存の事業領域の深耕 ④事業基盤強化）について、引き続き推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第86期 ハイライト

Highlights



セグメント別業績

セグメント	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	前年比増減
半導体事業	売上高	▲368	5,688	(-) 368	17.5% ↓
	セグメント利益				13.6% ↓
パワーモジュール					17.5% ↓
ディスクリート他					13.6% ↓
電源機器事業	売上高	▲624	16,186	(-) 624	12.7% ↑
	セグメント利益				26.5% ↓
	一般産業用				33.6% ↓
	表面処理用 溶接機・切断機				26.6% ↑
	光源用・調光用				6.1% ↓
その他インバータ (パワーコンディショナ・ 無停電電源装置等)					
上記以外 (小型組込電源・サービス等)					

業績ハイライト

半導体事業

売上高に占める割合の高いFA機器向けや産業用各種インバータ向けのモジュールにおいて、国内外ともに取引先の在庫調整局面が予想以上に続いたことで受注が落ち込んだことに加え、新型コロナウイルス感染症の発生で中国・東南アジア・米国・欧州での営業活動に制約が生じ、顧客の生産活動が一時停止したこともあり、さらに売上は減少いたしました。また、SiCパワーモジュールは、正式採用を獲得し始めておりますが、業績への本格的な寄与には今しばらく時間を要す状況であります。

電源機器事業

一般産業用電源において牽引役となった銅箔生成用電源や電解コンデンサ用アルミ箔エッチング用電源が上期まで堅調に推移いたしました。下期以降は顧客側での投資が減速したことにより、年間を通して安定した動きにはなりません。インバータの分野では、無停電電源装置や蓄電池搭載のインバータなどが国内向けに好調に推移し、増収となりました。しかし、当社の主力製品である表面処理用電源は、国内外ともに設備投資抑制や先送りの影響を受け、大幅な減収となりました。加えて、新型コロナウイルス感染症の発生により、当社グループの海外生産活動は工場の稼働・部材の調達面で影響を受け、一部の製品に出荷遅れが生じました。

株主の皆様への利益配分について

株主の皆様への利益還元をもっとも重要な経営課題のひとつとして認識し、配当性向30%を目途に安定的な配当を継続することを基本方針としております。当期の期末配当金につきましては、1株につき5円とさせていただきます。中間配当8円とあわせ年間配当金は13円となります。

1株あたりの 配当金	中間	8円
	期末	5円
	合計	13円

工場紹介① 滋賀工場

守山市勝部町452-1

JR琵琶湖線
守山駅東口より
徒歩8分
名神高速道路
栗東ICより
車で5分



■ 特長

大型機器生産工場
100%受注生産方式の大型製品を中心とした多品種・少量・短納期に対応した生産システム

- ・CAD/CAMシステム
- ・部材データベース
- ・購買システム
- ・P・D・Pシステム Plan-Do-Produce
- ・自動電線加工システム
- ・ショップ生産工法
- ・主要部材内製
- ・鉛フリー化



■ 地球環境保全への取り組み

2014年4月から屋上に、太陽光発電設備(太陽光パネル630枚)を設置しています。



■ 社会貢献活動への取り組み

毎年、滋賀県が推進する「ごみゼロ大作戦」などの環境美化運動に参加しています。



工場概要 (2020年3月末現在)

名称: 電源機器製造本部 滋賀工場
 操業開始: 1982年7月
 敷地面積: 31,817㎡
 延べ面積: 18,294.28㎡

認証取得:
 ISO9001:2015(JQA-0750) 1994年12月28日取得
 ISO14001:2015(JQA-EM7051) 2001年 8月29日取得
 滋賀県女性活躍推進企業 一つ星認証 2019年 7月11日取得

製造している主な製品:
 無停電電源装置、充放電装置、銅箔生成用電源、各種蓄電池・燃料電池・パワーコンディショナ 評価システム、パーチャルパワープラント実証用パワーコンディショナ 等



灰溶融プラズマ電源の開発で、循環型社会の形成に貢献。



日常生活や経済活動に伴い発生したごみや廃棄物の処理に関する環境問題を解決するための技術のひとつとして、熱プラズマによる廃棄物処理技術があります。熱プラズマが適している理由は、処理するごみを短時間で高温にすることができ、ダイオキシンなどの発生を抑え、無害化することができるためです。また、焼却炉で燃やしたごみの灰をさらに高温で溶かすことで体積を小さくし、「スラグ」と呼ばれる粒にすることによって土木・建築資材として再利用されます。三社電機製作所は、灰溶融プラズマ電源の開発で循環型社会の形成に貢献しています。

当社製品の特長

- ごみを焼却した後の焼却灰をさらに高温の熱プラズマを利用して灰を溶融します。
- 重金属やPCBなどを含め、廃棄物を無害化します。
- 熱プラズマの高速制御により、安定した操業が可能です。



灰溶融プラズマ電源

導入事例

中国では、目覚ましい経済発展を遂げると同時に様々な環境問題が顕在化しており、ごみ問題もその一つです。三社電機製作所は、灰溶融プラズマ電源を国内だけでなく、中国江蘇省のごみ廃棄処分場に納入しました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)とは、2015年9月に国連加盟国が採択した2030年までに持続可能な世界を実現するための17の目標です。

三社電機グループは、これらの目標達成に事業を通じて貢献してまいります。

経営理念

社会に価値ある製品を

常に社会の求める製品の創造につとめ よりよい品質によって 社会の発展に貢献する

企業に利益と繁栄を

常に衆知を集めて企業の繁栄をめざし 利益の確保につとめ 社会的責任を全うする

社員に幸福と安定を

常に新たな英気をもって未来をみつめ 信頼と協調によって 社員の幸福と安定したくらしをはかる

会社概要

2020年3月31日現在

商号	株式会社三社電機製作所
本社	大阪市東淀川区西淡路三丁目1番56号
設立	1948年(昭和23年)4月28日
資本金	27億7,427万7,500円
従業員数	(連結)1,402名 (単体)684名

事業所

- 国内本社 大阪市東淀川区西淡路3-1-56
- 東京支店 東京都台東区東上野1-28-12
- 中部営業所 名古屋市中区泉1-23-30
- 九州営業所 福岡市博多区博多駅東2-15-19
- 北陸事務所 石川県金沢市彦三町1-2-1
- 滋賀工場 滋賀県守山市勝部町452-1
- 岡山工場 岡山県勝田郡奈義町柿1741
- 海外ヘルシンキ支店(フィンランド)
- ソウル支店(韓国)
- 台北支店(台湾)

子会社

- 国内株式会社三社ソリューションサービス
- 株式会社三社電機イースタン
- 海外サンレックスコーポレーション(アメリカ)
- サンレックスアジアパシフィックPTE. LTD.(シンガポール)
- サンレックスリミテッド(香港)
- 三社電機(上海)有限公司(中国)
- 三社電機(広東)有限公司(中国)
- 東莞伊斯丹電子有限公司(中国)

株式の状況

2020年3月31日現在

発行可能株式総数	42,600,000株
発行済株式の総数	14,950,000株(自己株式902,122株を含む)
株主数	5,603名

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	(1)定時株主総会、期末配当 毎年3月31日 (2)中間配当 毎年9月30日 その他必要あるときは、取締役会の決議によりあらかじめ公告いたします。
(よくあるご質問(FAQ))	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物の送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031(受付時間 土・日・祝祭日を除く9時~17時)
(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に、「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法	電子公告とし、当社のホームページに掲載します。 (https://www.sansha.co.jp/)。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
単元株式数	100株

ホームページをリニューアルしました。

三社電機製作所の事業をよりわかりやすくお伝えるために、ホームページをリニューアルし、4月1日に公開しました。今後もよりいっそう充実したホームページにしてまいりますので、引き続きよろしくご願ひ申し上げます。



当社ホームページ内「投資家情報」では企業情報や決算情報を掲載しています。▶▶▶ <https://www.sansha.co.jp/ir/>

株式会社 三社電機製作所

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路三丁目1番56号
TEL 06-6321-0321 FAX 06-6321-8621
URL <https://www.sansha.co.jp/>

